

## 解答

一

問一 A ウ B イ C オ D ア

問二 a ウ b イ

問三 (1) 取っ手のついたギフトボックスに入った赤と白のコンビニのワイン。

(2) 成田から自宅へ持ち帰るには重たいから。

問四 ギフトボックスの底が抜け、ワインが落ちて割れたこと。

問五 粗悪なギフトボックスなのに火星までも持っていけると太鼓判を押したから。

問六 ワインを遠くても重くても家まで持ち帰ろうとした決意

問七 後始末をする夫妻の紳士的な態度から、口笛で茶化した自分の態度が恥ずかしく思えたから。

二

問一 a みぢか b 経済 c 注 d 訪

問二 一

問三 B カ C ウ

問四 イ

問五 (1) スギやヒノキを植林した森の手入れが行き届かない状況

(2) 竹林が拡大し、森を侵食している状況

(3) 人が森に手を入れなくなったこと

問六 エ

問七 筆者のイメージしていた自然の森として人の手が加わらない森の姿とはちがい、実際の「白神の森」はマタギの人たちが資源の再生を考えながら育ててきた森であるということ。

問八 自然を大なり小なり人間の手が加わっているものであるととらえている。

三

問一 緊張して固い表情の顔。

問二 笑顔

問三 自分の気持ちを外に向けて、今までと違った世界が開けるということ。

四

① ウ ② イ ③ エ ④ オ ⑤ エ

五

① カ ② サ ③ イ ④ オ ⑤ ケ

## 解説

一

問五 夫妻からギフトボックスの強度について聞かれた時、「火星までだって持っていけるくらい丈夫です」と言ったことを指して、「店員」を「お調子者」と言い表していることをおさえます。

問六 傍線④の指す内容は直前に示されています。「遠くても、重くても家まで持ち帰ろうとしたのだ。そこには私の持ち得なかった小さな決意があった。」の部分から簡潔にまとめます。

二

問六 直後の部分にある、山にしてみれば遷移の法則にしたがってふさわしい森に回帰しようとしているにすぎないが、その過程が人には汚く、無価値に見えるという内容から、選択肢エが最も適することがわかります。

問七 傍線③の前後の段落で「原始の森」と、「人の手の入った森」のちがいが述べられているので、実際の「白神の森」と筆者のイメージとあわせて説明します。

三

問二 まだまだいっぱい素晴らしいことがあると教えてくれている、という内容に注意して考えると「笑顔」が適切であることがわかります。

問三 「昨日とは違う水が出る」に着目し、今までと異なった見方や、それまでとは違ったものが見つけられる等の内容を書き表します。